

# 第9回 西日本インカレ（合同研究会）専用企画シート

必ず「企画シート作成上の注意」をご確認いただき、ご記入をお願いいたします。

| 大学名（フリガナ）          | 学部名（フリガナ）     | 所属ゼミナール名（フリガナ）   |
|--------------------|---------------|------------------|
| フリガナ) オオサカケイザイダイガク | フリガナ) ケイエイガクブ | フリガナ) オオカズキゼミナール |
| 大阪経済大学             | 経営学部          | 太田一樹ゼミナール        |

| チーム名（フリガナ）    | 代表者名（フリガナ）   | チーム人数（代表者含む） |
|---------------|--------------|--------------|
| フリガナ) チームオオタン | フリガナ) タナカユウキ | 5            |
| チーム太たん        | 田中悠基         |              |

## 研究テーマ（発表タイトル）

中小企業と学生団体をつなぐサービス「Cnavi」

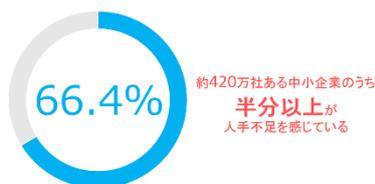
### 1. 研究概要（目的・狙いなど）

現在の日本では、中小企業をめぐる問題が深刻化している。経済産業省の発表によれば、日本における中小企業の割合は、全体の99.7%を占めている。しかしこのうちの、66.4%が深刻な人手不足に陥っている現状がある。若年労働者の大手志向化もあまって、若年層が中小企業に定着しない現状がここにある。加えて、中小企業経営者の高齢化問題も課題として挙がっている。1995年では、経営者年齢のピークは47歳となっているが、2000年代に推移するにしたがって年齢層のピークもシフトし、2015年では、ピークの年齢は66歳となっている。また、高齢化している中小企業は、若者との接触機会が少なく、新しい技術やトレンドを取り入れにくい状況にあると考えられる。

また、大学生も理由は違えど、課題を抱えている。内閣府などの調査によると、クラブ活動を行う大学生の数が年々減少している。クラブ活動は本来、社会人基礎力を養成するための重要な活動であるが、金銭的理由からクラブ活動を行えない学生も多い。日本の将来を担う大学生に広がり多様性を与える意味でも学生団体に向けた金銭的支援の必要性があると考えられる。

我々は、中小企業と学生団体の相互の課題を解決するためにITを駆使して、両者をつなげることで相互に課題解決を促す新しいビジネスモデルの考案を行った。

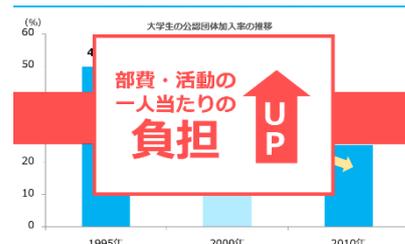
#### 人手不足を感じている中小企業の割合



#### 中小企業の高齢化問題



#### 公認団体加入率の低下



## 2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

企業と学生団体をマッチングしてソリューションを行うビジネスは既にいくつか存在する。株式会社ガロアが運営する「ガクセイ協賛ドットコム」は企業と学生団体をマッチングする国内最大級のサイトである。登録企業も多く、「リクルート」や「マイナビ」などの大手企業も登録し、学生団体とつながっている。また多くの学生団体が登録を行っており、ビジネスとして成立している。このビジネスの特徴としては、広告媒体として学生団体を活用する側面が非常に強い点が挙げられる。

株式会社トライアンプが運営する「MeetUS!」は人材獲得の面で、企業と学生団体をマッチングするサイトである。

このサービスでは、企業が学生団体に金銭的支援を行い、そこで学生との接点をつくり採用につなげるという意図が見られる。また、いずれのサービスも非常にニッチな市場であるために、実際に利用している学生は非常に少ない。両サービスの認知度を確認するために大学生のクラブ員に対してヒアリング調査を行ったが、認知している学生は5%に満たなかった。



## 3. 研究テーマの課題

### ● 中小企業の課題

中小企業の人材不足→若年層が中小企業の魅力を知るきっかけの提供が必要である。  
経営者の高齢化→若年層と接点を持ち、新しい考え方を取り入れていく必要性がある。

### ● 学生団体の課題

クラブ入部者減少→一人あたりの負担が増える→金銭的支援の必要性がある。

### ● 研究テーマの課題

両者の課題を解決する新しいビジネスモデルの考案が必要。

## 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

我々が考案したビジネスモデルは、中小企業と学生団体をマッチングさせることで、お互いが抱えている課題を解決しようとする試みである。まず、中小企業は学生団体に対して、金銭的支援あるいは、物的支援を行う。対して、学生団体側は、それぞれの団体の特徴を生かして中小企業に貢献を行う。貢献の内容としては、4 つほど挙げられる。①アンケートへの協力②企業宣伝・広告への協力③福利厚生への協力④PBL(問題解決型学習)での協力である。



特に、当ビジネスの特徴として、③福利厚生への協力④PBL(問題解決型学習)での協力を中小企業に対して行っている点

は、競合ビジネスとの差別化が明確にできている箇所である。また、単に中小企業と学生団体をつなぐだけでなく、お互いが課題点を相互評価し、次の発展に生かせるフィードバックのデータ提供を行う点も他ビジネスと差別化できている点である。



## 5. 研究・活動内容 (アンケート調査、商品開発など)

### ● 企業訪問とヒアリング調査

株式会社西川(リサイクル業)、株式会社カケハシスカイソリューションズ(人材)、株式会社矢野経済研究所(シンクタンク)、株式会社 i-plug(人材) 等の企業様を訪問し、ヒアリング調査を行った。

ヒアリング調査を行って、得られた課題点等を整理・分析・検討した結果、「Cnavi」の企画考案に至った。

### ● デモアプリケーションの企画開発

また、サービスの内容を具体化するために、デモアプリケーションの開発を行った。プロトタイプ作成および、UI/UX のデザイン等はすべて学生主体で行った。その際には、アプリプロトotypingツール「Prott」を活用している。デモアプリの完成までは、約 3 カ月の期間を要した。

### ● リーダー企業トップへのプレゼンテーションの実施

ビジネスの内容を客観的に厳しく評価して頂くために、企業の社長の方にメールでアポイントメントを取り、プレゼンをきいて頂けないかをお願いした。その結果、10月30日(火)のゼミの時間に、株式会社 i-plug の中野智哉社長に来学頂き、「Cnavi」のビジネスモデルのプレゼンテーションを実施した。ビジネスモデル自体を非常に評価して頂き、収支計画の箇所での不備等をご指摘を頂いた。株式会社 i-plug は逆求人型就活アプリ「OfferBox(オファーボックス)」のビジネスでご成功されている企業様である。

### ● 学内ゼミ大会への出場と上位入賞

本学で毎年行われている学内ゼミ対抗のプレゼン大会にて 5 位以内に入賞した。決勝では、審査員である多くの企業人事担当者の方にご指摘ご講評を頂き、ビジネスモデルを改善していくきっかけになった。

## 6. 結果や今後の取り組み

学内ゼミ大会での入賞、株式会社 i-plug 社長へのプレゼンを経験し、ビジネスモデルの成立と実現が現実味をおびてきたと考えている。ビジネスプランとして、確かなニーズがあること、実現可能性が高いことを実証するために、プレゼンを日々改善していきたい。今回の西日本インカレでも結果を残し、「Cnavi」のアイデアをもっと色々な人に知って頂き、評価して頂きたいという思いがある。今後、他のビジネスアイデアコンテスト等への出場も検討していきたい。

## 7. 参考文献

・経済産業省 中小企業の雇用状況に関する調査(2017) アクセス日 2018年10月13日

<http://www.meti.go.jp/press/2017/10/20171023002/20171023002-3.pdf>

- ・中小企業庁 2017 年版中小企業白書 概要 アクセス日 2018 年 10 月 18 日  
[http://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/H29/PDF/h29\\_pdf\\_mokujityuuGaiyou.pdf](http://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/H29/PDF/h29_pdf_mokujityuuGaiyou.pdf)
- ・内閣府政策統括官（総合企画調整担当） 2001 日本の青少年の生活と意識（第 2 回調査）— 青少年の生活と意識に関する基本調査報告書—。 アクセス日 2018 年 10 月 13 日  
<http://www8.cao.go.jp/youth/kenkyu/seikatu2/pdf/0-1.html>
- ・日本学生支援機構 2011 大学、短期大学、高等専門学校における学生支援取組状況に関する調査  
アクセス日 2018 年 10 月 13 日  
[https://www.jasso.go.jp/about/statistics/torikumi\\_chosa/2010.html](https://www.jasso.go.jp/about/statistics/torikumi_chosa/2010.html)
- ・ガクセイ協賛ドットコム 2018 年 アクセス日 2018 年 10 月 13 日  
<https://www.gakuseikyosan.com/>
- ・MeetUS!（ミータス） 2018 年アクセス日 2018 年 10 月 13 日  
<https://challenge-meetus.com/>
- ・株式会社カケハシスカイソリューションズ アクセス日 2018 年 10 月 13 日  
<https://www.kakehashi-skysol.co.jp>
- ・株式会社 i-plug アクセス日 2018 年 10 月 13 日  
<http://i-plug.co.jp/>

●パワーポイント内に動画を使用されている場合、動画を使用しているスライドのページをご記入ください。

スライド番号「23」 Cnavi(企業版)の紹介動画

●発表時に使用する成果物（例．商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査に使用したアンケート）

開発したデモアプリ「Cnavi」アプリ企業版（ipad をプレゼンターが持って、操作等を行います。審査員への配布は行いません）

**【企画シート作成上の注意】 ※「第9回 西日本インカレ（合同研究会）大会参加要項」も合わせてご確認のうえ、企画シートの作成を行ってください。**

- ・本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。
- ・本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、翌年 3 月に公開予定の「大会結果 Web ページ」に掲載されます。
- ・本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ・本企画シートは、作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。
- ・大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ・企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。
- ・商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。
- ・書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。
- ・発表時に使用する成果物がありましたらご記入ください。記入がない成果物は大会当日使用することができません。また記入いただいた内容について、事務局から代表者の方に確認をさせていただきます。
- ・電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。